

新しい目標が決まりました

2022年度の目標が決定し、4月1日環境宣言で公表しました。電気使用量の削減、エコキャップの回収、美化活動、それに環境教育は従来通りです。今年はエコドライブを目標の一つに加え会社全体で、どのような活動をするか考えて行きます。背景には、当社の取引先である日立ハイテク殿がマリンサイトをたてあげ、今後取引が活発になれば、輸送距離が伸びることが予想されます。当社も那珂川サイトが完成し、社内的な心配見もあり目標としました。最近では、ロシア、ウクライナの情勢から燃料費が高騰していることは、すでに皆さんもご承知の通りで、燃料費節約は重大な課題です。こうした背景でエコドライブが、皆さんに環境問題として受け入れていただき、ご協力いただけるような活動を目指します。

環美化活動近々実施します

今年も、美化活動実施します。どのような方式で取り組むか、環境会議で検討します。コロナ禍で思うように社外とコンタクト取れない現状から、こうした活動を取り入れる企業が増えているようです。最近、近くの電気通信会社が青柳町周辺の清掃作業をしているところを見ました。二人一組で、早朝実施しておられました。当社も負けずにがんばりましょう。実施時期は、環境会議で決定しますが連休明けになりそうです。活動範囲も昨年とおなじですが、担当場所等は実行委員間でよく話し合い決定します。よろしくお願いします。

金属類を積極的に有価物扱いにしよう

本年度の目標から廃棄物の項目が消えましたが、重要活動項目から除外されたわけではありません。廃棄物の削減は、製造企業にとって重要な課題の一つです。当社で使用する部品等に、プラスチックと金属が混合している物があります。このようなものの中には、少量の金や銅などの希少金属が含まれている物があります。こうしたものは有価で引き取ってもらえます。コネクタなどに多いと思われます。こうした部品も積極的に分別して、リサイクルできれば廃棄物の量は減ります。中には金属だと思わずに捨てている物もあり、分別強化が重要です。

紙リサイクルのお話 第1回「ダンボール」

これからの環境活動では、紙使用と紙リサイクルは一つのサイクルと考え、OA用紙などの使用量削減とリサイクルの徹底を合わせて考えて行くことにしました。そのために、紙の循環について理解をしてください。まずはダンボールの現状について説明します。段ボールは95%がリサイクルされている優等生でもあります。ただ、油污れが散見され、ガムテープ等が多く付着するなど、不純物が多いものはリサイクルに不向きです。余計な物ははがし、中に同梱された緩衝材などは必ず抜き取ってください。ダンボールは資源と考えてください。

最高責任者のコメント ～ 2022年新たな5項目決定 ～

今年の環境目標が決定した。電気使用量削減やエコキャップの回収量を増やす活動は長い間当社の環境目標として活動され、あらゆる対策をやり尽くした感はある。その中から、更に絞りだして成果につなげる方法は、地道な努力以外にない。各自身の周りを見つめ直し、新たな提案をお願いする。新しく始まるエコドライブ推進、環境教育イベントの実行については、従来の活動を高く評価している。以前の活動を真摯に反省し、美化活動のように地域からも評価される活動に成長させてほしい。

2021年度環境目標達成状況

2021年度の環境目標は、
すべての目標通り達成しました。
ありがとうございました。



	今月の目標	今月の実績	今月の評価	本年目標累計	本年実績累計	累計達成率	全株評価
電気使用量削減(kwh)	311,094	28,243	(達成)	311,397	294,031	106%	(達成)
一般廃棄物減量(件数)	1	1	(達成)	6	6	100%	(達成)
エコキャップ回収(個数)	891	1,000	(達成)	12,599	13,293	106%	(達成)
美化活動実施(回数)	—	—	—	2	2	100%	(達成)
環境教育実行(回数)	1	1	(達成)	2	2	100%	(達成)



方針

青柳工業株式会社は電子応用機器の設計、製造からサービスに係わる全ての活動、製品及びサービスの、環境影響を改善するために、次の方針に基づき環境マネジメント活動を推進して地球環境との調和を目指します。

1. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境影響を常に認識し、環境汚染の予防を推進するとともに、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。
なお、環境保護には、持続可能な資源の利用、気候変動の緩和及び気候変動への適応、並びに生物多様性及び生態系の保護を含みます。
2. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境関連の法的及びその他の要求事項を遵守します。
3. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境影響のうち、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り扱います。
 - (1) 電気使用量削減
 - (2) エコキャップ回収
 - (3) 美化活動実施
 - (4) エコドライブ推進
 - (5) 環境教育イベント実行



- (1) 電気使用量削減
- (2) エコキャップ回収
- (3) 美化活動実施
- (4) エコドライブ推進
- (5) 環境教育イベント実行